# 令和８年９月（第６回）教育研究評議会議事要旨

日　時　　令和８年９月１６日（水）　１３：３０～１４：４２
場　所　　本部棟第一会議室（ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を併用）
出席者　　４６／５２
欠席者　　狩野副理事、豊岡副理事、岡安副学長、和田医学部長、
　　松本文明動態学研究所副研究所長、森本教授

○　前回議事要旨の確認
　令和８年８月開催（第５回）の議事要旨について、原案のとおり承認された。

○　議　事
１　審議事項
（１）学生の懲戒処分について
　管理事から、資料１（机上配付・要回収資料）に基づき、学生の懲戒処分について提案があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（２）異分野基礎科学研究所附属牛窓水圏統合研究センターへの改組について
　三村理事から、資料２に基づき、現在、理学部附属施設として設置している理学部附属臨海実験所について、令和９年４月１日付けで異分野基礎科学研究所の附属施設へ改組するとともに、施設名称を「異分野基礎科学研究所附属牛窓水圏統合研究センター」に変更する計画について説明があった。
　続いて、濱田臨海実験所長から、理学部附属臨海実験所のこれまでの教育研究活動の実績を踏まえ、異分野基礎科学研究所への改組により、同研究所が有する研究基盤との連携を強化し、異分野融合研究の推進、人材育成機能の強化及び本学全体の研究力向上を図る旨の説明があった。
　以上を踏まえて審議の結果、原案のとおり承認された。

（３）諸規則の改正について
　小代理事から、資料３に基づき、以下の規則に係る一部改正について、改正理由及び改正内容の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
　なお、本件は、９月開催の経営協議会及び役員会において審議することとした。
１　国立大学法人岡山大学におけるスペースの有効活用に関する規則

（４）ダブル・ディグリー・プログラムの設置及び外国人留学生に対する授業料等の不徴収について
　鈴木副学長から、資料４に基づき、本学における国際共同教育プログラムに関する新たな規程等に基づく初めてのダブル・ディグリー・プログラムとして、大学院ヘル

スシステム統合科学研究科及び大学院環境生命自然科学研究科において、ケベック先端科学技術大学院大学（カナダ）との博士後期課程ダブル・ディグリー・プログラムを実施するとともに、同プログラムに参加する外国人留学生に係る授業料等を不徴収とすることについて説明があった。

続いて、鶴田副学長から、双方の大学における教育課程の履修、学位取得要件、教育の質保証及び研究指導体制等、本プログラムの内容について説明があった。

以上を踏まえて審議の結果、原案のとおり承認された。

２　報告事項

（１）職員の処分について（陪席制限）

学長から、職員の懲戒処分を行った旨の報告があった後、塩谷教員懲戒等審査委員会委員長から事案の詳細及び処分の内容について説明があった。

（２）令和９年度概算要求について

小代理事から、資料５に基づき、文部科学省から財務省あてに提出がなされた令和９年度概算要求の概要と本学の要求事項に係る状況について、報告があった。

（３）「研究准教授」の称号を付与した１名の教員について

佐藤副理事から、資料６に基づき、認定要件に該当しているものと認めた１名の者に「研究准教授」の称号を付与した旨の報告があった。

以　上